

# 人工透析患者さまの下肢末梢動脈疾患重症化予防の取り組みについて

人工透析を受けられている方では、膝関節以下の末梢で、高度の石灰化病変を伴う頻度が高く、症状も乏しいとされ、早期発見に努めることが重要とされています。また、下肢末梢動脈疾患については、複数診療科が連携し、適切な治療が施されることも重要とされています。人工透析患者さまの下肢末梢動脈疾患重症化予防の取り組みを紹介致します。

当院は、下肢末梢動脈疾患に対して専門的な治療体制を有している医療機関として地方厚生局に届出しております。

当院では慢性維持透析を実施している全ての患者さまに対し、下肢末梢動脈疾患に関するリスク評価を行い、その評価内容を元に慢性維持透析を実施している全ての患者さまに指導管理等を行います。

— 専門的な治療を要すると判断される基準について —  
検査の結果、ABI検査0.7以下又はSPP検査40mmHg以下の場合

上記に該当される患者さまについては、患者さまやそのご家族さまに説明を行い、同意を得た上で、当院専門診療科（循環器内科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科）と連携を図り、専門的治療を行います。

ご不明な点がございましたら、7階人工透析室および1階受付へご相談ください。